

第7回 建設・産業小委員会（議事概要）

日 時 平成14年10月10日（水） PM2：30～PM4：31

場 所 あみの図書館

出席数 12人（欠席2人）

傍聴者数 4人

主な議題

- （1）協議第1号 19-28 農林水産事業の取扱い（その5）
- （2）自由討論 合併基本項目（方式、期日、位置）新市建設計画の中間案について
- （3）次回の議題について
- （4）次回の小委員会の日程

議事経緯

委員長あいさつ

会議の成立確認

議事

- （1）協議第1号 19-28 農林水産事業の取扱い（その5）・・・確認

主な意見

委員 合併すると、各町にある水田農業推進協議会も一つの組織となるのか。

部会長 今の流れでは、生産調整は面積配分から数量配分になり、個人割り当てと言われてきている。個人配分になった場合、この組織が必要あるかどうか検討しなければならない。また、この組織は生産調整だけの協議会ではなく農業振興に係る協議会に変わっていくのではないか。

委員 生産調整の取り組みの中で「集落単位」となっているが、これは区を指すのか農事組織を指すのか。

部会長 大きく言って区ではあるが、区の組織の中に農会長があるところはそちらにお願いしており、営農組織にはお願いしていない。

委員 平成16年頃に順次生産調整の制度は廃止されると聞いているが、これに関わる補助事業についての変更・見直し・廃止ということを把握しているのか。

部会長 生産調整は個人の選択にまかされ、参加しない人は自らの責任でやらねばならないということから、ほとんどの制度が一旦廃止され農業振興の新たな制度として出てくるのではないかと思われる。

委員 各町、農事組織がバラバラであり、また区内での農家数の減少で、生産調整などお願いするのは難しいと思うが、合併に際してそこまで考えているのか。

部会長 合併で各町のやり方を統一するのは難しい。福知山では、自治組織とは別に農家で構成する農区というものを作っている。今、行政や農協と関わる組織の見直しの時期にきていると考えるが、委員の意見を参考に今後検討したい。

委員 米政策の転換と併せて、新市で一元化するべき。

部会長 どういう組織でやるかわからないが、農家のみなさんから平成16年について、来年の秋には方針を出してほしいと言われている。農水省の研究会での結論を踏まえ、平成15年秋を目途に考えている。

(2) 自由討論 合併基本項目(方式、期日、位置) 新市建設計画の中間案について

主な意見

委員 この前の協議会で、新市の事務所は峰山町役場で新たな庁舎建設はしないということであったが、新市になって新しい庁舎が必要であれば考えていけるのか。

委員 新市になって総合計画ができた時、提案されている市役所の位置をもう一度判断するために、さいたま市に習って「当分の間」と入れ再提案してほしい。

委員 この前の協議会では、支所の位置づけについて説明不足であった。どのように残るのか、またその機能についていつごろ示されるのか。

委員 治山治水の関係で、堤防決壊、道路陥没など今は各役場での対応となるが、合併して支所に担当がいなくなったら速やかな対応ができず、その間に事故が起きるかもしれない。また水道の断水での迅速な対応など、支所機能をどのように考えておられるのか。

委員 本庁には総務、議会を置き、後は新市建設計画のゾーニングにあるように、網野町には観光水産、久美浜には農業、医療は弥栄、大宮は産業というように拠点づくりをしてほしい。支所は、住民の不便さを解消するためにも、ある程度責任を持たせるように、現役場を活用するのがよい。期日や方式については異論はない。

委員 平成16年3月1日に合併する場合、それまでの11ヶ月間の決算はだれが承認するのか。

事務局 平成15年度決算は2月末で行われ出納整理期間はない。従って、年度末に入る補助金等の収入がないため6町とも赤字決算となり、新市の3月の1ヶ月間の決算には2ヶ月の出納整理期間があり、補助金等の収入で黒字決算となる。この赤字決算と、新市の黒字決算が合わせて15年度の決算となり、新市の議会で審議される。平成16年度4月からの予算については、人件費や扶助費など義務的経費を中心とした暫定予算を職務執行者が専決処分で決める。

委員 全国的には、丹後と聞けば天の橋立や宮津、舞鶴しかイメージできない。丹後には海を利用した観光産業しかないと思う。建設計画にこういった柱を持たせ、これを振興させることにより農業、商業が潤うということを考えていかなければならない。そういったことから、新市の名称には海をイメージしたものがよいと考える。中間案ではなく、そろそろ最終案を立てる時期に来ている。

委員 新市建設計画策定小委員会に全てをまかせておいてよいのか。もっと他の小委員会でも意見を出し、提案される計画に反映させていかなければならない。

委員 中間案を持って説明したのでは、住民もイメージがわからないのではないかと。支所機能についても先進事例があるが、それが当てはまるとも限らないので、もっと

- ここで意見を出した方が、住民に見えやすいものができるのではないか。
- 委員 図の方に、広域道路として整備中の網野・岩滝線や峰丹線、各町間のアクセス道路を入れてほしい。
- 委員 新しい市になった場合、身近に市を感じてもらうために、各町持ち回りで市議会を開くなど支所機能は大事である。
- 委員 支所について、事務局構想が何か聞けないか。
- 助役 現在はかなりの職員数があり支所への配置はできるが、人員整理をしていくといずれ見直しをしなければならなくなる。今、合併時に各支所にどれくらいの職員を残すかが議論となっている。
- 委員 「事務所の位置」の提案時には支所機能についてできていなければおかしいと思うが、支所の事務と本来本庁に置くべき事務をどの支所に置くかということをお早急にやってほしい。
- 委員 この協議会のシステムでは、首長と委員の意見のキャッチボールができていない。委員の意見がどこまで伝わっているのかわからない。内容によっては各小委員会に首長も出席するなど、意見交換の場がほしい。小委員会の気持ちをもっと分かってほしい。また、海ばかりを前面に出すのではなく、丹後には世界に発信している企業もあるので、もっと商工関係に目を向けるなど、この小委員会でもよりよい議論ができればよい。
- 委員 本所、支所については光ファイバー等を設置することにより、分散型に持っていけたらよい。
- 委員 最近、市になるための要件について、平成17年3月末まで延長される話を聞いているがどうか。
- 事務局 政党内の議論として報道されているのは承知している。
- 委員 町立病院や各町保有施設など補助金の明確化をして、民間委託も視野に入れた経営面を考えていかなければと思う。

(3) 次回の議題について

協定項目の協議について

(4) 次回の小委員会の日程

第8回建設産業小委員会

日時 11月6日(木)午後1時30分から

場所 JA久美浜支店

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局

(速報のため、事後修正の可能性あり)